

プログラム

9時00分～10時30分	シンポジウム 1	会場:第1会場(大講堂)
教育;卒前・卒後教育について		座長 小野田 公
CL1-1	養成課程におけるレディネスというハードル マロニエ医療福祉専門学校	向山 弘一
CL1-2	菅間記念病院の卒後教育 菅間記念病院	高橋 秀介
CL1-3	当院での新入職者の人材育成の観点からの取り組み リハビリテーション翼の舎病院	岩猿 倫
9時00分～10時30分	セレクション口述	会場:第2会場(中講堂)
		座長 谷 浩明 渡部 健太郎
SO1-1	サルコペニア有する日本人要介護高齢者における5回立ち上がりテストの絶対信頼性に関する検討 介護老人保健施設マロニエ苑	YIN LU
SO1-2	ダブルプロダクトと心拍変動からみる運動強度の設定 国際医療福祉大学病院	木村 修一朗
SO1-3	足底への弾性テープは足関節可動域改善に有用か 国際医療福祉大学病院	伊藤 梨也花
SO1-4	フォームイメージの修正が有効であった股関節痛を呈する競歩選手の一症例 佐藤病院	小原 裕次
SO1-5	非監視下での椅子座位ペダリング運動が奏功し運動耐容能が改善した慢性血栓塞栓症肺高血圧症の一例 獨協医科大学病院	西川 佳織
SO1-6	視床痛に対しセルフストレッチが有効であった1症例 国際医療福祉大学病院	鈴木 暁
10時40分～12時10分	特別講演 1	会場:第1会場(大講堂)
		座長 金子 宙
SL1-1	予防理学療法学 東京都健康長寿医療センター研究所	大淵 修一

10時40分～11時30分	一般口述 1	会場:第2会場(中講堂)
---------------	--------	--------------

		座長	生沼 朋也
			木村 和貴
O1-1	右視床出血後中枢性疼痛により離床・歩行練習に難渋した急性期リハビリテーションの症例	済生会宇都宮病院	大塚 菜々
O1-2	免疫介在性壊死性ミオパチーに対する介入経験	塩原温泉病院	黄瀬 慎吾
O1-3	下垂足を呈した食道癌患者に対して経皮的電気刺激療法が有効だった症例報告	国際医療福祉大学病院	湯田 大空
O1-4	発症から5か月経過し重度片麻痺、高次能機能障害を呈した症例に長下肢装具を使用し治療に当たった症例	宇都宮リハビリテーション病院	佐々木 美寿
O1-5	起立動作の改善により転倒リスクが軽減した症例	菅間記念病院	佐藤 大起

10時40分～11時20分	セレクションポスター 1	会場:第3会場(大会議室)
---------------	--------------	---------------

		座長	矢口 剛
			村中 大樹
SP1-1	右放線冠ラクナ梗塞により、介助下歩行可能も座位保持獲得に難渋した一症例	宇都宮リハビリテーション病院	黒崎 芽依
SP1-2	脳卒中患者を対象とした骨格筋量指数と反復唾液嚥下テスト成績との関連を検討する	塩原温泉病院	伊東 宗一郎
SP1-3	脳卒中片麻痺患者に対して随意運動介助型電気刺激を用いた歩行練習の効果－Sensor Triggerモードが歩行機能に及ぼす影響の検討－	栃木県立リハビリテーションセンター	駒形 孝大
SP1-4	腰椎変性疾患患者に対する体幹装具療法の効果検証 ー固定術後患者の動的矢状面アライメントに着目したPreliminary studyー	国際医療福祉大学	井川 達也
SP1-5	脳梗塞後における歩行獲得に向けた運動パターンの変容について	リハビリテーション翼の舎病院	熊倉 康博

11時20分～12時00分	セレクションポスター 2	会場:第3会場(大会議室)
---------------	--------------	---------------

		座長	糸数 昌史
			千葉 脩平
SP2-1	人工肛門造設患者への早期リハビリと職種間連携により円滑な仕事復帰ができた症例	国際医療福祉大学病院	飯島 進乃

SP2-2	乳癌術後早期に生じたリンパ浮腫への取り組み	菅間記念病院	村松 理子
SP2-3	開心術後患者における自宅退院に必要なSPPBのカットオフ値について	済生会宇都宮病院	石川 恭平
SP2-4	心大血管疾患患者における骨格筋量, 身体機能, 及びサルコペニアの指標としてのPhase angleの有用性	獨協医科大学病院	水嶋 優太
SP2-5	サルコペニア患者の再々転倒を外的要因の改善により予防した一症例	新上三川病院	山下 大詞

13時00分～14時30分	特別講演 2	会場:第1会場(大講堂)
		座長 芳澤 有希子

SL1-2	腰痛疾患に対する理学療法	桐蔭横浜大学大学院	成田 崇矢
-------	--------------	-----------	-------

14時40分～16時10分	シンポジウム 2	会場:第1会場(大講堂)
評価;実践的評価とその解釈		座長 渡部 夏樹

CL2-1	脳卒中患者に対する評価のエビデンスと臨床場面での活用について	新上三川病院	森 諒
CL2-2	内部障害におけるエビデンスの見直しと活用	国際医療福祉大学	伊藤 晃洋
CL2-3	訪問リハビリテーションにおける評価とその解釈	西那須野マロニエ訪問看護ステーション	佐々木 秀明

14時40分～15時30分	一般口述 2	会場:第2会場(中講堂)
		座長 武石 清久 天間 翔太

O2-1	当院訪問リハビリテーション運営課題と取り組み～運動習慣定着と医療と介護連携～	芳賀赤十字病院	山下 翔
O2-2	積極的なリハビリ介入と多職種による退院支援により、長期入院患者が自宅退院へと繋がった症例	新宇都宮リハビリテーション病院	佐川 俊和
O2-3	他職種連携を密に行った一症例報告～自宅退院に向け、早期離床、早期歩行の検討～	新宇都宮リハビリテーション病院	中野 拓馬
O2-4	構造的脚長差が変形性膝関節症に影響を与え脚長差を助長する足部アライメントが生じた症例 ～運動連鎖に着目して～	佐藤病院	北川 あゆみ

O2-5 当院地域包括ケア病棟に入院した透析療法を行っている脳梗塞患者の自宅療養支援について

那須中央病院

本澤 薫

14時40分～15時05分	一般ポスター 1	会場:第3会場(大会議室)
		座長 野崎 陽平 小原 裕次
P1-1	生活行為向上リハビリテーションを通して食器洗いの構成要素に着目して介入した症例 リハビリテーション花の舎病院	椎野 大空
P1-2	視覚障がい呈する第3脳室腫瘍患者の歩行練習に難渋した症例 新上三川病院	藤田 舞
P1-3	脳卒中後のせん妄に対する、多職種連携を通じた取り組み 獨協医科大学病院	内藤 翔汰
P1-4	麻痺側介入から非麻痺側へ転換したことにより歩行改善に至った症例 新上三川病院	高濱 良太
P1-5	両側人工膝関節全置換術を施行し早期より移動能力が改善した症例報告 国際医療福祉大学病院	塩見 誠

14時40分～15時05分	一般ポスター 2	会場:第3会場(大会議室)
		座長 大藤 範之 宗像 歩
P2-1	動画による歩行分析の角度計測方法に関する考察 マロニエ医療福祉専門学校	向山 弘一
P2-2	当院における実習生担当形式変更後の業務負担に関する報告 済生会宇都宮病院	高野 直
P2-3	本邦における犬に対する理学療法 一症例報告を対象としたナラティブレビュー 国際医療福祉大学	田中 智美
P2-4	短期間に入退院を繰り返している高齢心不全患者に対し、入院初期から積極的な生活指導を行い再入院 期間を延長できた症例 済生会宇都宮病院	柏木 智大
P2-5	運動器疾患患者は骨格筋指数と体脂肪率が退院時ADLと関連する 塩原温泉病院	廷々 知美